

背中の痛みの問題改善

臨床編 その2



❖はじめに

【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリックできます。できない場合は最新の AdobeReader をダウンロードしてください。(無料)

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。
下記の点にご注意戴きご利用下さい。

このレポートの著作権は作成者に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。

著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

もくじ

1 : 左手でドアノブを引くと左の背中が痛む.....	5
2 : 首や肩を動かすと肩甲骨の間に痛みが出る。.....	9
3 : 食べ過ぎにより発症した背中の中の痛み.....	14
4 : 左の肩甲骨の下の痛みの原因は残業続きで...?	20
5 : 背中の中の痛みの原因はストレスから起った...?	25
6 : 飛行機に乗りすぎて腰痛と背中の中の痛みが!!	33
7 : 左肩甲骨の下に痛みが3か月以上も前から続いている	40
8 : ストレスによる胃腸障害と背中の中の痛み.....	48
9 : ぎっくり背中? 肩甲骨の間が、ぎっくり腰のような痛 みでつらい!!	54
10 : 子宮筋腫や背中の中の痛み、生理痛、頭痛、不眠の原因 をつくっていたものは?	57
11 : 背中の中の痛みとしびれの治療から不妊治療にそし て...?	60

1 2 : 呼吸もできないほどの背中の中の痛みが肝臓と・・・？
..... 63

1 3 : 首から背中の中の痛みで、首も肩も動かさない理由はコ
タツで〇〇？ 66

❖ 1 : 左手でドアノブを引くと左の背中が痛む

50代 男性

1週間ほど前から、左手でドアノブを引こうとすると、左の背中に痛みが走るようになる。

この背中以外には気になるところはなく、原因は不明とのこと。

まず、うつ伏せで背中全体のチェックを行う。

すると、左の背中よりもむしろ、右の腰の方が悪そうである。

そこで、「腰の方は痛みはないんですか？」と聞くと、

「はい、ありません。」との回答。

ということは、腰の問題ではなく、大腸や腎臓の問題も考えられる。

もし、内臓の問題があるとしたら、今回の背中の中の痛みとは、全く関係ないが処置していく方が良さだろうと思い、いろいろと質問してみるが、全て該当なし。

とりあえず、自覚のない腰はおいといて背中の問題に取り掛かった方がよさそうだと、気持ちを切り替え、左腕と左の背中の中の連動性をつけるための鍼治療を行い始めた。

さらに、その連動を追っていくと、やはり右の腰につなが

っていく。

そこで、右の腰にも鍼を刺し始めると、突然、「あっ！」

ビックリしながらも、「何かありましたか？」

「思い出しました。そういえば、GW中に庭の草むしりを
していて、腰が痛くなったんです。でも、その後、しばらく
くすると痛みが引いたから、すっかり忘れてました。」

ということで、左腕と左の背中、そして、右の腰が対角線
上につながった連動で痛めてしまったことが判明。

しかし、分かった時には、ほぼ治療も終了。

腰の問題も解決したところで、立ち上がってもらい、腕や

肩を動かしてもらおうと、スッキリしていて痛みもないようだ。

今回のように、来院当日の情報はしっかり持っていたても、数日から数年前の情報は忘れていくことが多い。

しかし、身体というものは全てがつながっているため、意外に数年前の症状が絡んで発症していることが少なくない。

そのため、治療中に根掘り葉掘り身体の症状について話していくと、意外な原因にぶち当たることもある。

このようなことも、臨床の面白さなのだろう。

❖ 2 : 首や肩を動かすと肩甲骨の間に痛みが出る。

30代 女性

2週間ほど前から、

首や肩を動かすと、右肩甲骨の内側に痛みが出る

ようになる。

身体を動かす仕事のため、動かすたびに痛みが現れ、かなりしんどいとのこと。

原因は、分からないが、背中の中の痛みが出る前は、しばらく首が痛かったらしい。

まずは、身体全体のチェックを行っていく。

身体を仕事で動かしているおかげか、肩甲骨から下の部分に関しては、ほとんど問題はなさそうであるため、意識を上半身に集中していけそうである。

しかし、念のために全体の整体を行ってみることにした。

少しだけ、腰に動きにくさがあったが、ほんの少し操作するだけで動きが良くなった。

そのため、ここから上半身へ集中的に操作を入れていくことに。

横向きになってもらい、手首、肘、肩、肩甲骨、鎖骨、首、頭など、各関節が全ての関節と連動するか確認しながら、

整体を続けていくと、ものが見事に連動性がない。

そこで、全ての関節に連動性を持たせるような操作をゆっくり時間をかけて行った。

この段階で、かなり肩関節の動きが良くなっている。

次に、仰向けになってもらい、顔、顎、頭、首、肩甲骨、鎖骨、背骨などの動きに、連動性をつける操作を行う。

これで、起き上がってもらい、首や肩を動かしてもらおう。

首をグルグル回し、肩を上下させたり回した後に、

「はい、痛みはありません。治ったみたいです。」

と、笑顔で答えてくれた。

この方は、最近までお子さんへ授乳を行っていた。

夜寝る時も、授乳しやすい恰好で寝ていたらしいが、最近になってようやく、授乳が終了。

久し振りに普通の睡眠を取れるようになったらしい。

今までは、片側を向いて、固まって寝ていたため、首がその方向で固まっていたのだろう。

急に睡眠中に、首を動かせるようになり、首周りの筋肉がビククリしてしまい、痛みを作ったものと考えられる。

仕事中に、腕や首を動かすと痛みが出るため、変な動きを

している間に、手首の方まで硬さが出てしまったようだ。

普段から、身体を動かしているため、比較的簡単な操作で、動きを改善し、痛みを止めることができた。

やはり、人間の身体は、普段から動かしている人の方が、健康を維持しやすいし、悪い所が出てきても、回復力が違うことを、再認識させてくれる症例だった。

❖ 3 : 食べ過ぎにより発症した背中の中の痛み

30代 男性

4～5日前に、中腰になった瞬間、腰の上の方が痛くなる。

その後、2日間、かなり痛みが強かったため、会社を休み、実家へ帰り静養したことから、少しずつ落ち着いてきた。

しかし、まだまだ痛みがある。

うつ伏せで背中を診ると、それほど問題点は見つからない。

痛みがあるのに、その痛む部分に問題がない場合は、ほぼ内臓の異常と考えていい。

そのため、うつ伏せでは、何もせずに仰向けになってもらう。

内臓の状態を把握するためには、仰向けの方が診断しやすいのだ。

仰向けになると、腹部全体と膝から下の外側に、異常な緊張が診られる。

これは、ほぼ食べすぎの所見である。

そして、冷えと胃腸の機能低下が考えられる。

そこで、これらを改善するために、鍼を行うと、見る見るうちに全体の緊張がゆるんできた。

これで、再度うつ伏せになると、先ほどまでなかった歪みや緊張がたくさん表れている。

その異常反応を、一つ一つ鍼で取り除いていった。

起き上がってもらおうと、背中の中の痛みも不安感もなくなっているのので、終了とした。

この患者さんのケースは、睡眠時間が短いのに、食べる量は、通常より多めであった。

それでも、消費するだけの動きが、仕事なり運動なりで取られていれば、まったく問題なかったのだが、仕事はデスクワークで、運動は一切していない。

それでいて、消費するための睡眠時間も取れていない。

そのため、胃腸に負担がかかりすぎ、機能低下を起こして
しまった。

そして、胃腸の機能低下により、腹部全体が冷えてしまっ
たことで、お腹の筋肉が固まってしまった。

そのため、腰を曲げ伸ばしするだけで、硬くなったお腹の
筋肉に対抗する背中側の筋肉に、負担をかけてしまい痛み
が出てしまったようだ。

その証拠として、お腹が固まっている状態では、背中側の
問題は診られなかった。

しかし、お腹側の緊張が取れた後には、背中側の筋肉にも
緊張が現れ、歪みも出てきた。

この背中の中の緊張や歪みが、お腹の固さに対抗して緊張していた部分であることがわかるだろう。

そして、その筋肉の緊張や歪みが、痛みのポイントだったので。

このように、単なる食べ過ぎから、なかなか治らない腰痛や背中の中の痛みが出る事もある。

もちろん、このようなタイプの痛みは、整形外科では対処のしようがないものである。

身体は、外傷などから起こる痛みだけでなく、内臓の機能異常からも、たびたび痛みを発することがある。

常に身体と対話をすることで、どこから発症した症状なの

か？

これが理解できるだけで、生活を改善することができ、症状を緩和させることも可能となる。

それよりも、心配の種が少なくなる事が最も重要なことではないだろうか？

❖ 4 : 左の肩甲骨の下の痛みの原因は残業 続きで…？

この2か月ぐらい、仕事が異常なほど忙しく、ほとんど休みがないような状況。

気が付くと、左側の肩甲骨の下が痛くなっていた。

そして、いつか痛みがひくものと思い、ほっておいたら、左肩を上げるのもつらくなったということで来院した、50代の女性。

まず、表情から見るからに睡眠不足は明らか。

毎日、遅くまで残業があるらしく、ほとんど睡眠時間を取れていないらしい。

うつ伏せに寝てもらい、背中をチェックした途端。

「甘い物や炭水化物を取りすぎていたりしませんか？」

と、唐突に聞いてみた。

すると、

「毎日残業続きなので、疲れた時に、チョコレートを取ることが多くなっていました。」

「であれば、そのチョコレートが、この肩の痛みの原因です
すね！」

と、言いながら、背中から脇にかけて、お灸をし始め、脇の部分が、しっかりしてきたことを確認後、左を上にして

横向きに寝てもらい、さらに左脇からお腹にかけてのお灸を行った。

最後に、少しだけ、肩甲骨にお灸を行い終了。

立ち上がってもらい、腕を動かしてもらおうと、まったく痛みがなく動きもいたって普通になっていた。

脇の痛みとチョコレートの関係

なぜ、このような治療内容で、左の脇の痛みが改善されたのか？

それは、膵臓がポイントなんです。

うつ伏せで、背中を触った段階で、膵臓周辺に異常なむく

みを発見しました。

そして、このようなむくみがある場合には、腓臓を使った証拠と捉えられるわけなんです。

腓臓が一番絡んでくることは、糖質の問題。

この患者さんは、仕事が忙しく、毎日遅くまで残業していたということで、アルコールは省き、甘い物と炭水化物に焦点を絞り、尋ねてみたわけです。

そして、原因が、チョコレート（砂糖）を取りすぎたことによる腓臓の疲れということが、わかったことで、腓臓の疲れを取り除くためのお灸治療に集中して、効果が得られたという流れになるわけです。

ここからは、私独特の身体の診方になるわけですが、膵臓は肝臓と同類の臓器という区別をしていることから、肝臓の異常は、身体の側面に異常が出るというものがあります。

肝臓が悪いと身体の右側に、膵臓が悪いと身体の左側に、症状が出るという特徴があるため、今回の症状を、早めに特定することができたということになります。

❖ 5 : 背中の中の痛みの原因はストレスから起った…？

数か月前から背中の中の痛みで、仕事に集中できないという50代女性。

仕事中、どんどん背中の中の痛みが強くなっていくという。

背伸びをしても、腰を捻ってみても、全然変化しない。

さらに、最近1か月、ずっと口角炎が出ていて、薬を付けても治らないとのこと。

この段階で、ほぼ原因はつかめていたので、仰向けに寝てもらい、まずは、足を触り、想像通りの足の状態を確認。

次に、脈を診てみると、こちら想像通りの脈。

最後に、お腹を触ると・・・？

以外にも、足と脈の状態とは少し違っている。

しかし、足と脈の状態の方が、お腹の情報よりも、正しいことが多いため、当初の予定通り、お腹と足へお灸をしていく。

すると、もう一つの原因が見つかり、横隔膜を徹底的に直すことも同時に行った。

さて、ここからが種明かし。

始めに感じたことは、胃の興奮。

交感神経が働きすぎていることで、背中の中の痛みと口角炎が出ていたと考えました。

そして、足も脈も胃の興奮がはっきりとわかる状態を表していました。

ところが、お腹には、胃の興奮度があまり感じられず、

あれっ!?

と、思ったのですが、まずは、お灸をスタート。

すると、横隔膜が垂れ下がっていることが確認でき、これでは、胃の確認ができないのも納得。

まずは、横隔膜を元の位置へ正すように、お灸をしていく

と、段々と胃の形が見えてきた。

そこで、胃の興奮を抑えるように、お灸をしていくと、

**「不思議！！背中にお灸しているわけではな
いののに、どんどん背中の中の緊張がゆるみ痛みが
取れてきました。」**

という反応。

口角炎に関しては、胃の興奮が収まり、腸が活性化しなければ、改善しないため、今後のストレス次第。

とにかく、胃と横隔膜の問題が背中の中の痛みを出していたことは、これで判明したわけですが、問題は、胃と横隔膜にどのようなことが起こり、このような状況になってしまっ

たのか？

ここが一番大事なんです。

突き詰めて聞いていくと、次のようなことがわかってきました。

1. 仕事に集中していると呼吸が浅くなっている
2. 疲れると食べてしまう癖がある
3. 食べ始めると限界まで食べてしまう
4. これらの現象を起こしている根本に強いストレスがある

このようなことがわかってきました。

呼吸が浅いと、横隔膜の機能が低下します。

機能が低下した横隔膜は力が弱くなります。

疲れているときは、身体を休める必要があるのに、(この患者さんの場合はという解釈でお願いします。)なぜか食べてしまい、その結果、胃の興奮を作ってしまう。

胃が興奮しているときは、腸が動きにくいため、消化しきれれていないのに、食べてしまうことで、胃から腸へ流れるのが遅くなり、しばらく胃が重いままになる。

胃が重いと、力の弱くなった横隔膜が下へ引っ張られてしまう。

胃も腸も横隔膜も共に、背骨にぶら下がっている器官であるため、背骨に負担がかかり背中に痛みが出ている。

また、腸に滞留物が多い場合に、皮膚炎は起きるもの。

しかも疲れているところに炎症は起りやすい。

疲れているときに、食べる癖があるため、一番動かしている場所は、口であるということがわかる。

ということは、口が最もストレスを受けているということで、口角炎が出ているという流れになる。

このようなことから、仕事に集中しているときほど呼吸を深くすること。

そして、疲れているときに食べたくなるのは、ストレス発散の一環なので、食べていいのだが、ほんの少しで食べた欲は収まるはずなので、その段階で食べるのを止める。

このような意識付けを行い終了としました。

ストレス発散の仕方は人それぞれ。

けれど、発散のサイン通りに行えば、そのストレスは発散できるが、やりすぎるとその行為によって、さらなるストレスとなるものです。

ストレスを抜くために、ストレスを作ってしまったら意味がありません。

何事も適度が大事ですね！！

❖ 6 : 飛行機に乗りすぎて腰痛と背中の中の痛みが！！

先日、イギリス人の男性が診えました。

日本語の全く話せない方で、世界中を飛行機で飛び回っているとのこと。

しかし、この4週間ほど前から、背中から腰に掛けて、ずっと痛みがあり、どうにかしてほしいと来院。

飛行機で座っているのがしんどいらしい。

鍼灸は初めて。

そもそもマッサージも受けたことがないとのこと。

まずは、うつ伏せで背中を見ると、その段階で、腰が大きく歪んでいる。

これだけでも十分に腰痛や背中の中の痛みの原因にはなる。

しかし、それよりも、お腹の横から大きく外にはみ出しているお腹の肉を触ってみると、かなり固くなっている。

これは、冷飲による腸の冷えを表すことが多い。

しかも、腰の歪みと連動するように、このお腹の固さにも左右差がある。

さらに、両脚がそれぞれ全く違う歪みを持っていた。

これは、何かあるはずと思い、聞いてみても、足に痛みを

感じたことは一切ないとのこと。

とりあえず、足は後に置いといて、腰も何もせず、お腹にだけ鍼を刺す。

これだけで腰の歪みはなくなった。

しかし、背骨の両脇に細かい固さがある。

これをほんの少しだけ鍼を刺して、すぐに抜くような処置を行い、次に横向きになってもらった。

すると、意外にもお腹の固さが触れなくなった。

日本人であれば、確実に、うつ伏せでどちらかのお腹の横が固ければ、横向きになっても固さが出ているはず。

けれど、まったく固さが診られない。

うつ伏せの段階で、冷飲の影響で腸が冷えているという診断は、間違っていたと理解するしかない。

横向けでの調整が一通り終了し、仰向けになってもらおうと、お腹のど真ん中に、長い手術の後があった。

「この手術は何の手術なんですか？」

すると、実は、これまで数えきれないぐらい派手な交通事故を何度も経験していて、そのうちのひとつで、バイク事故により、何かがお腹に突き刺さってしまい、それを取り除く手術だったとのこと。

この瞬間、「これか！！」と、思った。

これで、足の歪みもお腹の冷えの原因も理解できた。

しかし、イギリス人という民族性なのか、理解できないほど、お腹にオケツの反応がないのだ。

通常、交通事故、もしくは手術を一度でも経験すれば、必ずと言っていいほど、お腹にオケツが溜まっているもの。

けれど、この患者さんは、事故も手術も経験している。

それでいて、まったくオケツが触れない。

身体が大きすぎるからなのかもしれないが、少し特異な感じを受けた。

これで、全体の調整は終了。

立ち上がってもらい、痛みを確認。

左に身体を倒した時に、左腰に痛みが残るが、それ以外は
楽とのこと。

ベッドに腰掛けてもらい、左腰の痛みを取り除くための鍼
を行い、もう一度身体を動かしてみると、

「奇跡だ！！こんなに楽になるだなんて！！」

と、笑顔満面で喜んでいる。

そして、

「鍼って面白いね！刺すたびに、身体の中で何かが動いて
いるみたいだった。」

と、本当にうれしそう。

日本語が話せないため、細かい説明は、極力わかりやすい範囲で説明したつもりだが、とりあえず症状が取れてよかった。

と、ここまで読まれた方のほとんどは、

「あれ???先生英語もできちゃうわけ???」

と、思った人たちが多いかもしれない。

そうなんです。

実は私。

英語が全く話せないので、通訳が入ってました。(爆)

通訳の方が一緒にいてくれてよかった。(大汗)

❖ 7 : 左肩甲骨の下に痛みが3か月以上も前から続いている

左肩甲骨下の痛みで3か月ほど苦しんでいる40代の女性。

原因は全く分からず、常に左の肩甲骨下に痛みを感じているとのこと。

肩の動きには、何ら制限も痛みが強くなることもない。

予約時には、この痛みを見てもらいたかったが、2日前に生理があり、異常な出血量により体力がガクンと落ちてしまい、そこを何とかしてほしいという内容だった。

出血の原因は、かなり大きな子宮筋腫が原因とのこと。

医師からは早期の手術を勧められているが、仕事の忙しさのせいにして、先延ばしし続けているとのこと。

ということで、血液補充をメインとした鍼治療を行うことにした。

脈を診つつ、慎重に体調の調整をしていくが、何やら子宮以外にも出血している可能性が出てきたので、その辺を詳しく聞いてみると、何と左の奥歯がほぼ全部ぐらぐらの状態であることが分かった。

こちらは、歯が悪いというよりも食いしばる力で、グラグラになってしまっているらしく、何の処置もできないのだとか。

この原因は、仕事に異常な集中力を発揮してしまう性格が

災いの元のようにだった。

まあ、この辺は、改善する方法がいくつかあるので、まず一つの方法として、仕事中に歯と歯の間に舌を入れてもらうことにした。

これが実践できれば、歯を食いしばる機会は極端に減少できるはず。

それと共に、顎周りの筋肉疲労を改善するため、棒灸を行うことに。

実はこの段階で、顎を改善するだけで、左肩甲骨下の痛みが改善するのでは？

と、思いながら、棒灸を始めたわけだが、1分も棒灸をし

ない間に、効果が表れ始めた。

それは、首から背中にかけての筋肉が、次々と緩んでいくことが、手に取るようにわかったからだ。

患者さん本人も、顎だけでなく背中の中の張りが抜けて行くような感覚を得ているとのこと。

顎の方を全体に仕上げた後、再度脈をチェックすると、生理以外の出血反応も治まっている。

やはり、顎の影響が出ていたようだった。

そして、起き上がってもらおうと、

「うわっ！本当だ！背中がスッキリしています。不思議

議！！」

と、嬉しそうな、だまされたような何とも言えない表情を浮かべていた。

顎の問題は、筋肉もかみ合わせも、首の歪みや筋肉の緊張を作り上げるものです。

片側の顎が問題になっていれば、片側の首に問題が出ます。

首の筋肉に左右差があったり、首がどちらかに傾いてしまえば、肩や背中の中の痛みは運動制限などを出してしまうわけです。

歪み方や筋肉の緊張度合いによって、痛む場所や症状の種類が変わってきます。

このような歪みや筋肉の緊張だと、このような症状という違いはありません。

大抵の場合、筋肉の緊張や歪みを改善してみたら、〇〇の症状がなくなっていたという結果オーライの反応になるだけ。

これは、やってみるしか変化するかしないかがわからないと言ってもいいものです。

要は、経験則によるものなんですね！

もちろん、学校で教わることでもないですし、教科書や専門書に載っているものでもありません。

経験しなければ、理解できないもの。

そして、経験した患者さんは、奇跡を体験した感覚を持って
てしまう。

少しかわいそうかもしれませんね！！(笑、笑)

だって、キュアハウスでは日常で何例も起こっている現象
なのに、他の治療方法しか経験していない人からすると、
それは、まるで奇跡でも起こっているのでは？と、勘違い
してしまうほどの反応が出てしまうのですから。

かといって、このような反応が全ての人に出るわけではあ
りません。

特に、強モミ中毒の患者さんは、特に変化を感じない人が
多いようです。

後は、鎮痛剤や安定剤・睡眠薬などを長期間服用している人も反応しにくいものです。

ただ、反応がしにくいというだけであり、一気に反応する人も中にはいますし、何度か治療を続けていると、いつの日か急激に変化に気づく時が来たりもします。

まあ、その辺は、患者さんが何を期待して治療を受けているのか？

これは、価値観によるものなので、このような変化を望む人もいれば、全然興味のない人がいていいのだと思います。

あなたは、どのような治療を望んでいますか？

❖ 8 : ストレスによる胃腸障害と背中の中の痛み

40代 男性

数ヶ月前に、部署が変わり、役職が付いてしまった。

さらに、その新しい部署で、問題が次々に発生。

胃の痛みと膨満感が表れる ようになる。

病院では、ストレス性の胃炎だろうと言われ、薬を飲み続けるが、一向に治まらない。

そればかりか

背中全体が痛みだし、マッサージを受けても
まったく効果が出なかった

ということで来院。

まず、うつ伏せで背中全体のチェックを行うと、

背中の上半分にむくみ（疲れ）がかなりたまっている。

そして、背中の中央付近にある、

二日酔いなどで現れるツボにも、かなりはっきりした反応が表れている。

そこで、「最近、飲みすぎるようなことありました？」と聞くと、

「おととい、珍しく記憶が飛ぶほど飲んでしまいました。

次の日まで残っていたのは、何年ぶりかなあ？」と懐かしそうに語っていた。

胃の痛みや膨満感が強いため、本来なら鍼を行いたいところが、背中の状態からは、疲労がたまりすぎているように伺えるので、お灸で疲れを抜くことから始めることにした。

お灸である程度むくみが抜けると、本来の胃の興奮状態がツボに表れ始める。(疲れが抜けた証拠)

それと同時に、

患者さん本人も胃の痛みを感じ始めた。

そのため、横向きになってもらい、背中とお腹に鍼を刺し、

胃と背中の中の調整を行う。

そして、膝から下（胃腸の反応が出るツボ）の緊張感を、足先に鍼を刺しては抜きという作業を繰り返し、取り除いた。

最後に仰向けになってもらい、お腹全体の固さを、手足の鍼で取り除き、全体が緩んだところで、

「大分楽になったんじゃないですか？」と聞くと、

「はい、さっきまでのつらさが抜けました。」

と、ようやく笑顔が戻ったようだ。

今回のように、ストレス性のものは、胃と心臓が、緊張す

ることで症状は始まる。

しかし、西洋医学では、胃の状態しか見ない。

胃薬を飲んだとしても、心臓が落ち着かなければ、胃の方も落ち着かない。

従って、症状がなかなか変化しないのだ。

そればかりか、長期的に薬を服用していると、肝臓が疲れてくる。

肝臓が疲れると、筋肉も疲れてしまうのが、身体の面白いところ。

さらに、**ひどくなると、筋肉に痛み**が出始める。

さらにさらに、

**心臓の手当てを何もしなければ、心臓の興奮
が強くなり、やがて、不眠症に**

陥ってしまうのだ。

この方も、この2～3日、夜中に目が覚めるようになり始めていた。

このようなことがないように、いろいろな症状が出ている場合は、東洋医学も併行して診てもらうことをお勧めしたい。

鍼灸・漢方どちらでもよいし、どちらか一方でも、かなり楽になるはずだ！！

❖ 9 : ぎっくり背中？肩甲骨の間が、ぎっくり腰のような痛みでつらい！！

20代 女性

3週間ほど前に突然背中が痛くなり、頭も上げられず、身動きすることも難しい状態になる。

日に日に、少しずつ良くなっているような気はするが、まだかなりの痛みがあり、

右を向くと肩甲骨の内側で背骨の右側に激しい痛みが出る

とのこと。

まず、うつ伏せになってもらい背中を診ると、全体がむくみで覆われている状態、とても患部の状態を調べることが

できない。

そこで、お灸を使い、むくみを抜いていく。

むくみが流れ始めると、大分患部の状態がはっきりとしてきた。

そこで、鍼に切り替え、患部の筋バランスを整えて（姿勢の問題かはわからなかったが、筋肉の緊張の強い場所がかなりあった。）いくことに。

次に、仰向けになってもらい、首の固さと動きの制限を、手足のツボに鍼を刺し改善させる。

これで、起き上がってもらおうと、「あっ！痛くない！痛くない！！！」と、いろいろな動きをしながら、症状が改善していることに、感動しながら喜んでいた。

今回のように、症状ははっきりしていても、患部にむくみ

がたまっているときは、注意が必要である。

**むくみは、その下に悪い部分を隠している時
に出現し、相当疲れている証拠でもある。**

悪い部分だけを治そうとすれば、むくみを無視した治療となり、症状は取れたとしても、疲れは一層強くなり、他の症状を出してしまうこともある。

従って、**私は、どんなに症状が強くても、疲れがひどければ、疲れを最優先として治療を進めている。**

疲れを自覚しつつ、他のつらい症状を治そうとする場合は、あせらずに、まず疲れを抜くようにすると、治療をせずとも改善してしまうこともある。

まずは、しっかり睡眠を取ることが重要である。

❖ 10 : 子宮筋腫や背中の中の痛み、生理痛、頭痛、不眠の原因をつくっていたものは？

30代 女性

つらいところがありすぎて、どこから見てもらえばいいかわからないと来院。

生理痛・便秘・不眠・眼精疲労・頭痛・膝痛・背中全体の痛み、そして、子宮筋腫。

子宮筋腫は、毎年一つずつ増えていて、全摘手術を勧められているが、逃げているとのこと。

とりあえず、ここでは、子宮筋腫をどうするかは本人に任せ、一番つらそうな背中全体の痛みをメインに診ていくこ

とにした。

背骨の歪みを確認しようと背中を触ったところ、触れただけでも痛い。

背骨の歪みどころか、背骨全体が水に浸かっているようになっている。

これは、交通事故か、全身ボキボキするような整体を受けたかのどっちかだと思い、聞いてみるとどちらでもないらしい。

そこで、腰の前弯がきついで、ハイヒールを履いていないか聞いてみると、何とこの患者さん、5cmから10cm以上のもので各種持っていて、毎日違う高さのものを履いているという。

原因は、ほぼこれである。

かかとの高さが変化すると、背骨の位置もそれぞれ変わるため、変化に背骨が疲れて、背骨周りがすべてむくんでしまったのだ。

そこで、背中ほぼ全域にお灸を行い、ついでに足の裏にもお灸で不眠対策を行う。

ハイヒールを履き始めて、捻挫をよくするようになったのもあり、ストレッチの仕方を指導し、ほぼ一時間で終了。

一週間後の来院時には、背中の中の痛みと生理痛、頭痛、不眠がほとんど気にならない程度になったとのこと。

現在は、子宮筋腫に対応した治療を行っているが、筋腫の数が多すぎるため、一応私も手術を勧めている。

本人は、頑なに拒んでいるが・・・。

❖ 1 1 : 背中の中の痛みとしびれの治療から不妊治療にそして・・・？

30代 女性

背中の中の痛みとしびれで来院。

この症状は、中学生の頃からあり、まったく取れないとのこと。

背中を診ると、右腰の広範囲に痣がある。

卵巣か腎臓の異常はあるか聞いてみると、特にないが生理痛はひどく、毎回薬を使用している。

頻尿もひどく15分に1回行きたくなることもあるとのこと

と。

しかも、結婚したばかりで、早く子供がほしいということで、背中も大事だが、子宮・卵巣・腎臓の治療をメインに行うこととし、自宅でもお灸をするよう毎回つぼの指示を出すようにした。

背中の中の痛みは、その都度改善していき、子宮点のつぼの反応もよくなってきた。約1年後に「妊娠しました。」との嬉しい報告。

現在、13週目に突入。

脈の状態では、あまり、子宮に栄養が行ってないようで、呼吸数も多い。

これは、胎児が栄養失調になっていて呼吸から栄養を取ろうとしている状態。

小さい頃から、あまり栄養をとってきた経験がなく、どう栄養摂取したらいいか分からないとのこと。

よくお腹が空くはずだから、何か口にして、眠くなったら寝ること。

太りたくないダイエットしようとしてたと告白。

元気な子供を産みたければ、どんどん栄養を取る。

これは、親としての責任だよ。

がんばれお母さん。

❖ 1 2 :呼吸もできないほどの背中の中の痛み が肝臓と・・・？

40代 男性

2日前から急に背中が痛くなり、動かすのも呼吸するのもしんどい、原因は分からないとのこと。

うつ伏せで、背中全体を診てみると、肩甲骨の下側特に右寄りにむくみが強くある。

そこで、むくみ取りのお灸をしていくと、だんだんむくみが少なくなっていくが、ある形にむくみが残っている。

そう、肝臓の形である。

肝臓は、横隔膜の下にあり、ほぼ身体を横切る形をしていて、右側が太く左側に行くにつれだんだん細くなっている。

その形状にむくみが残っているのである。

ということは、肝臓の疲労があるということ。

肝臓の疲労には、

- ◎目の使いすぎ。
- ◎お酒の飲みすぎ。
- ◎コーヒーの飲みすぎ。
- ◎食品添加物の摂りすぎ。
- ◎サプリメントの摂りすぎ。
- ◎医薬品の摂りすぎ。
- ◎筋肉の使いすぎ。

◎揚げ物の摂りすぎ。

◎味付けの濃いものの摂りすぎ。

など、多くの原因が考えられるが、この患者さんは、一日中コーヒーを飲み続けていて、1リットルは、飲んでいるということである。

そこで、仰向けになり、肝臓の強化と今までの不節制で、影響を受けているところの補修を鍼にて行う。

立ち上がり、身体を動かしてもらい、深呼吸も行い、痛みが取れていることを確認し終了とする。

今回、痛みは取れたようだが、上記に記している事項を行っている以上は、いずれ同じ症状、もしくはもっと強い症状を発症する恐れがあるので、この患者さんには、コーヒーの飲みすぎを特に注意してもらうことにした。

❖ 13 : 首から背中の中の痛みで、首も肩も動か かせない理由はコタツで〇〇？

30代 女性

昨日の朝から、急に首が痛くなり、今朝は肩から背中も痛く、首も腕も動かすことができない。

原因は分からないという。

まず座った状態で、動ける範囲で首と腕を動かしてもらおう。

やはり、ほとんど動かない。

うつ伏せになってもらおうと、その姿勢で両方の肩甲骨内側が痛むとのこと。

寝違えであれば、痛みは片側に寄るはず。

しかし、両方同じように痛むという。

鍼灸も考えたが、30分しか時間がないので、整体をしていく。

すると、かなり、身体全体が前に丸まっている印象を受ける。

股関節も肩甲骨も首も前に突っ込んでいるのである。

そこで、椅子に座って下を向いた状態で何か作業をしたか？

高い枕を使って寝転がりながら TV や本を見ていなかった

か？

と聞いたところ「あっ！日曜日に一日中、コタツに入っ
てごろ寝状態でTVを見てました。」

しかも、一人暮らしで水道代節約のため、毎日湯船に入ら
ずシャワーで済ませているらしい。

寒い季節（12月）であるのに、じっとしていた上に体を温
めないでいれば、身体中固まってしまう。

普段は、デスクワークで座ったまま固まり、休日は、寝そ
べって固まっていれば、筋肉を動かそうとしても急には動
かないものだ。

軽めの整体（筋肉のマッサージより、関節のストレッチを
重視する。）を行っていくと、体位を変える度に「楽な感じ。」

と言い始め、終わったころには、「かなり楽になりました。」
と笑顔でお礼を言って帰って行った。

筋肉や関節は、元々身体を動かすために作られたもの。
じっとしているなら、骨も筋肉も、もっと数が少なくて良
かったはず。

人間の身体は構造上、適度に動かすことで健康維持できる
ようになっている。

そのため、じっとすることがあったら、その分動かす時間
も必要なのである。

特に、寒さを感じている時は、余計に動く必要があるのだ。
昔のように、どの会社でも、一日に1～2度、ラジオ体操
する習慣がつけば、もっと健康な人が増えるのだが・・・。

もっと**健康**になるために

もっと詳しい健康情報をご希望の場合には、下記から、
全102ページ、販売価格1,980円

あなたの症状が治らない9つの理由

というレポートを**無料でプレゼント**させていただいています。
このレポートを請求していただいた方は、健康に関する情報が、ご登録のメールアドレスに、毎日届くようになります。
このレポートとメルマガだけでも、十分にあなたの症状を改善するヒントを得られるような内容になっています。
こちらから無料で請求できますので、積極的にこの機会を利用してみてください。

レポート請求はこちらをクリック



QRコードからも請求できます。



作者：キュアハウス鍼灸治療院 院長 中村幸生

メールアドレス：info@curehouse.jp

★共に健康になり幸せな人生を歩むための学びをしていきませんか？：「キュアハウスの健康幸生塾」

<http://curehouse.jp/blog/kouseijuku/>

★痛みや症状などの悩みの原因や改善方法を無料で知ることができるメールマガジン：「キュアハウスの悩み改善徹底基礎講座」

<http://curehouse36.xsrv.jp/kouza/>

★原因不明の症状を徹底的に解明し改善法を手に入れることができるブログ：「原因不明の痛みや病気を改善するたった3つの秘訣」

<http://blog.livedoor.jp/curehouse/>

★病院や治療院に何度通ってもなかなか治らない症状を専門とする鍼灸整体治療院：「キュアハウス鍼灸治療院」

<http://www.curehouse.jp/>



このレポートは、医療に頼らずに、自分自身で症状の原因を見つけ出し、病院の無駄な待ち時間の間に、自ら症状を改善できるような知識と技術をつかみ取っていただくためのヒントを掲載しています。

このレポートにより、あなたの将来における不安が少しでもなくなれば幸いです。

キュアハウス鍼灸治療院
院長 中村幸生